

NPO 21 世紀水倶楽部研究集会

山のトイレを考える研究集会

開催主旨

平成 28 年、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ための国民の祝日「山の日」が制定され、低山から高山まで多くの登山客が山と親しむようになっていきます。景観の多様性に加え、四季折々の彩りが魅力となって多くの外国人が日本の山を目指すようになっていきます。多くの登山客を迎える「山のトイレ」の実態はどうなっているのでしょうか。登山客が増えると山で排泄されるし尿が増え、処理が不十分だと、繊細で貴重な山の自然環境に悪影響を及ぼし、また登山客にとっても不快な思い出が残る登山となってしまいます。すなわち、「山のトイレ対策」が、「山の魅力」の維持そのものと直接的な関係にあると考えられます。山のトイレを取り巻く諸環境が厳しい条件にある中でも、それぞれの山で、それぞれの取組が行われてきました。本研究集会では、幾つかの取組みを紹介し、山におけるし尿処理の重要性と困難さ、適材適所のトイレの取組みと課題について研究します。

実施日時 平成 31 年 2 月 8 日（金）13：30～（受付 13：00 から）

場 所 東京都渋谷区千駄ヶ谷 2-37-9
全国設計事務所健康保険組合けんぽプラザ 3F 集会室

プログラム 13：30～17：00

I 基調講演 13：40～14：20

「日本の山は誰のものか～山の自然を正しく使うためのトイレ作法とは～」

NPO 日本トイレ研究所 理事 上 幸雄 氏

II 事例研究 14：20～15：35

(1) 「北アルプス燕山荘のトイレ対策」

燕山荘オーナー 赤沼健至 氏

(2) 「高尾山における下水道」

八王子市水循環部長 池内 司 氏

(3) 上高地の下水道

① 「上高地の下水道－その経緯と計画立案－」

21 世紀水倶楽部 理事 昆 久雄 氏

② 「上高地浄化センター建設から維持管理の現状と課題」

松本市上下水道局下水道課浄化センター長 武川義明 氏

III 総合討論 「望ましい山のトイレ対策～これまでとこれから～」 15：50～17：00

進行 21 世紀水倶楽部 理事 栗原秀人

参加者及 会員、公的団体：無料

び参加費 民間企業等：2,000 円／人

交流会 17:00~18:30 参加費:4,000円/人

申込み 定員60名 定員に達し次第締め切ります
21世紀水倶楽部HPの[申込みフォーム](#)よりお申込みください。申込期限は2/1(金)

問合せ E-mail <mailto:sympo-info2@21water.jp> または TEL.03-5395-0533